

沓してゐるので充分に觀察する事が出来なかつたため、極めて公平に評をした積りではあるが、多少の見落しや間違はあるかも知れぬ、且ある作品に對しては幾分か言ひ過した處もあつたかも知れぬ。その點は作者及讀者諸君の御宥恕を願ふ。

美術教育の缺乏

美術學校長正木直彦氏曰く、吾國は東洋の美術國など、自惚れる者があるけれど、其實上下を通じて今の一般の人士の趣味に乏しいことは甚しい、國民の中堅たるべき中流の人士が趣味に乏しいといふことは、實に國の品位に關することである。西洋諸國では、中等教育を受くる以上の人は必ず趣味を養ふべく文學及美術の教育を受けてゐるのである。佛國の如きは、如何なる方面の學問に志す人でも、中等以上の教育を受けた人は、必ず美術歴史教育を受けないものがない様な仕組になつてゐる。之に反して、吾國では普通教育を受くれば直ぐ専門の教育に這入るので、文學美術の教育を受くる機會は甚だ尠ない、即ち教育上からして趣味を養ひ得らるゝといふ機會は甚だ尠ないのである、教育せずして趣味饒き人格を求めらるは殆ど木に依て魚を索めるに等しきものである。(教育公報抜萃)

見物人換防法

戶外寫生に見物人の集まつて來るのはウルサイものだが、さてこれを防ぐよい方法もない。或人は見てゐる前で物を食ふとよ

いと云はれるがこれも際限のない話である、叱りつければ子供などは仇をする、砂でも撒かれたら堪らない、キタナらしい子供でも坊ちやんばよい子だからソツチへよつてをくれといふと素直に言ふとをきくが、ドケ／＼なんといふと中々意地張るものだ。ある西洋人は、人が來ると直ぐ繪に掩をして、其人の立去る迄濟まして煙草をのんでゐるといふ、それも暇潰してある。人が立つたらスケッチブックを出して其人の顔を寫生し始めれば、大概のアツカマシヤも逃げ出すであらうが、まだ實驗はして見ない、そしてこれは一人や二人には應用が出来るが、澤山集まられた時は駄目だ。はて何かよい工風はないかしらん。

○ 曾て萬朝の華山といふ人は、山水畫は人を厭世的にする、人物畫を獎勵しろといはれた、一理窟はあるが、併し火と鐵との人間社會に活動してゐる人達が、安息日に郊外の空氣を吸ふとが、多大の慰藉であるとを否定されぬ限りは、一幅の山水畫も、これ等の人達には好箇の清涼劑ではあるまいか。

○ 久しく病の床にある友からの手紙の端に『此頃いろ／＼な繪を枕頭の襖に貼りつけて眺めてゐるが、人物畫は見ておても、何故動かぬかとの欲が出て、物足らぬ心地はやがて厭氣に變るが、山水畫は自分もその畫中に遊んでゐる様で、いつ迄見てゐても飽きぬ』とかいてあつた。